

# 北大阪急行線延伸に伴う特殊街路部整備工事（第2工区）

## に係わる総合評価入札 質問書に対する回答

資料名		項目		質問事項	回答
No. 1	設計書	No. 1	単価表・数量計算書	技術提案においてコスト削減策(契約時VE, 契約後VE)を求めておられますが、コスト削減額を算定するための基準となる積算の考え方が提示されていません。各社がまちまちの基準に基づいたコスト削減額算定とならないよう単価表、数量計算書の開示をお願いいたします。	単価表、数量計算書の開示は行いません。 なお、数量等が不明確となっていたもののうち、開示できるものについては、ホームページ上で開示を行いましたので、そちらをご確認願います。(開示できないものについては、入札参加者でご検討願います。)
2	技術提案	2	標準工程表	技術提案において工程短縮を求めておられますが、短縮日数を検討、算定するための基準となる標準工程が提示されていません。各社がまちまちの基準に基づいた工程短縮提案とならないよう標準工程表ならびに根拠となる施工計画・基本条件の開示をお願いいたします。	標準工程表、施工計画・基本条件の開示は行いません。 工事進捗管理は、標準工程との比較ではなく、事業施行上の重要ポイント(構造物の引き渡し日)が守れるのか、あるいは短縮可能かという観点から評価します。
3	第三者損害の補償処理に関する説明書	3	5.補償担当者の選任	建築技術者(1級建築士又は同等以上の資格を有する者)とありますが、1級建築施工管理技士も該当するとの理解でよろしいでしょうか。また、建築技術者1名は当該現場の施工管理業務も担当することが可能と考えて良いですか。	沿道建物の故障が工事の影響によるものかどうかを判定する専門的な見地を求めため、1級建築士を配置すること。 特に事前・事後調査は同一担当者とし、やむを得ない事情を除き、補償業務完了までは基本的に変更しないこと。 また、建築技術者は施工管理業務も担当することは可能とします。
4	特記仕様書 P2	4	1-5工事着手	渇水期(11月～5月頃)との記載がありますが、11月1日～5月31日として工程を計画すれば良いでしょうか。ご教示ください。	渇水期は、11月1日～5月31日として工程を計画願います。
5	特記仕様書 P7	5	3-1躯体コンクリート等の仕様区分及び規格	【PCT桁(ポストテンション)】の表中で、主桁の下欄(張り出し床版の上欄)を確認することが出来ません。記載されている内容をご開示ください。	ホームページに掲載しております設計書(特記仕様書含む)について、内容を確認できるものに差し替えを行いましたので、そちらでご確認願います。
6	入札説明書	6	2(4)1)	「官公庁、地方道路公社、旧道路公団(民営化後も含む)、鉄道事業者(特定目的鉄道事業者は除く)または軌道経営者の発注した工事」とありますが、鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JRTT)の実績は含まれるのでしょうか。	鉄道建設・運輸施設整備支援機構の実績は含めません。
7	技術提案書	7	様式4～9、12	「A4サイズ片面3ページ以内に収めるものとする。(A3サイズの図表等はA4サイズに折り込むこと)」と記されておりますが、A3サイズの図表を含め、計3ページとの事でしょうか。	図表等も枚数にカウントします。 A3片面1枚はA4片面2枚とカウントします。
8	設計書(本工事内訳書)	8	単価表	工事費に関し、内訳のみの公表になっております。適正な金額を入札するにあたり、内訳書に表示されております単価表の開示が必要となります。単価表の開示をお願いいたします。	単価表の開示は行いません。 なお、数量等が不明確となっていたもののうち、開示できるものについては、ホームページ上で開示を行いましたので、そちらをご確認願います。(開示できないものについては、入札参加者でご検討願います。)
9	技術提案書	9	⑥確実な工事進捗管理方策	工程短縮案が求められています。技術提案としてこの提案を行うにあたり、標準工程の開示が必要です。標準工程表の開示をお願いいたします。	標準工程表の開示は行いません。 工事進捗管理は、標準工程との比較ではなく、事業施行上の重要ポイント(構造物の引き渡し日)が守れるのか、あるいは短縮可能かという観点から評価します。
10	技術提案書	10	⑥確実な工事進捗管理方策	工程表の書式が提示されておられません。書式は自由でよろしいでしょうか。A3用紙を用いてよろしいでしょうか。また、前記の質問2にも該当しますが、A3サイズを用いる場合、1ページとしてカウントするのでしょうか。	用紙はA4またはA3とし、様式は自由とします。 図表についても枚数にカウントします。
11	技術提案書作成にあたっての留意事項	11		技術提案「②、④、⑤、⑥」に対して、未発注工事橋脚(P2～P11)の基礎杭は対象外と考えます。ご教示ください。	対象外とします。
12	様式4～9、12	12		様式4～9、12において、A3サイズを使用した場合には、A4サイズ2枚と同等と考えればよろしいでしょうか。ご教示ください。	A3片面1枚はA4片面2枚とカウントします。
13	様式4～9、12	13		様式4～9、12において、書式に「枠」が記載されています。この枠の大きさ(左右、高さ)を変更してもよろしいでしょうか。ご教示ください。	制限枚数内での変更は可能とします。

14	構造図	14		構造図 p.102は杭長・フーチング幅等に関して、他の関連図面と相違があり、誤った図面と拝察されます。ご確認いただき、ご指摘どおりであれば、適正図面の配布をお願いいたします。	構造図のとおりとします。
15	構造図	15		構造図 p.202は「P12 構造一般図【鉄道基準】」ではなく、「P7 構造一般図【鉄道基準】」(構造図 p.173と重複)となっており、誤った図面と拝察されます。ご確認いただき、ご指摘どおりであれば、適正図面の配布をお願いいたします。	P12の構造一般図は p.191のとおりとします。
16	一般競争入札説明書	16		技術提案「①～⑥」に関し、受注後、それぞれの提案内容は履行義務を伴うものでしょうか。それぞれの技術提案に対してご教示ください。 なお、技術提案「③」は未発注工種が対象であり、履行義務はないものと考えます。また、技術提案「②」は「特記仕様書」に従い、審査・協議対象と考えます。	技術提案については、入札説明書1-(9)に記載のとおりとします。
17	一般競争入札説明書	17		「入札説明書」内、「10.低入札価格調査」に、「技術提案における契約時VEによりコスト縮減額が提案されている場合は、その額を考慮し、「調査基準価格」を算定する。」と記載されています。技術提案「①コスト縮減策」に対する妥当性評価およびその結果(採用の適否)は、入札前に、入札者に通知があるのでしょうか。 その通知がない場合、技術提案「①コスト縮減策」に対する採否判断は入札者のリスクとなります(場合によっては、入札者が意図しない「低入札」になります)。	実現可能な提案をいただいていることを前提に、入札説明書第10項従い、提案されたコスト縮減額(直接工事費、共通管理費、現場管理費、一般管理費)に相当する価格だけ「調査基準価格」を下方へスライドします。
18	技術提案書作成にあたっての留意事項	18		技術提案「②コスト縮減策」における提案対象は「工事目的物」「仮設構造物」含め、制約はないものと考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	工事目的物は対象外とします。
19	設計書	19		橋脚フーチングに関わる鋼矢板および中間杭の打設工法をご教示ください。 また、当該鋼矢板および中間杭は工事完了後、撤去あるいは残置、いずれでしょうか。 撤去の際には、撤去方法、撤去後の処理方法等に関わる施工方法をご教示ください。	打設工法は、油圧圧入工法とし、工事完了後は、引き抜き撤去としています。 撤去後の処理は特に必要ないと考えています。
20	設計書	20	単価表	技術提案書のコスト縮減策を検討する上で、設計書の摘要欄に記載がある『各単価表』が必要になります。ご提示いただけないでしょうか？ 宜しくお願い致します。	単価表の開示は行いません。 なお、数量等が不明確となっていたもののうち、開示できるものについては、ホームページ上で開示を行いましたので、そちらをご確認願います。(開示できないものについては、入札参加者でご検討願います。)
21	技術提案書作成にあたっての留意事項	21	⑥確実な工事進捗管理方策	技術提案書の確実な工事進捗管理方策及び工期短縮案を検討する上で、標準工程表を元に検討する必要があります。ご提示いただけないでしょうか？ 宜しくお願い致します。	標準工程表の開示は行いません。 工事進捗管理は、標準工程との比較ではなく、事業施行上の重要ポイント(構造物の引き渡し日)が守れるのか、あるいは短縮可能かという観点から評価します。
22	特記仕様書	22	施工条件(作業時間制限)	特記仕様書(第4章 その他 4-1 道路使用)には道路上を作業ヤードとして使用するため、夜間作業等の作業時間制限が発生する部分が有るとなっていますが、その施工範囲(数量)が明確ではありません。 ご教示願います。	特記仕様書と図面等で判断願います。
23	設計書	23	数量内訳	受領している設計書及び図面だけでは、PC桁工に掛かる費用を算出出来ません。 数量内訳(数量計算・単価表・積算区分等)の開示をお願いします。	数量内訳の開示は行いません。 なお、数量等が不明確となっていたもののうち、開示できるものについては、ホームページ上で開示を行いましたので、そちらをご確認願います。(開示できないものについては、入札参加者でご検討願います。)
24	設計書	24	PC桁工	PC桁は製品扱いと思われませんが、単価設定において経済調査会or物価調査会orメーカー見積のいずれでしょうか。 メーカー見積の場合、メーカー名の開示をお願いします。	単価設定は、メーカー見積としています。 なお、メーカー名の開示は行いません。
25	構造図 設計書	25	支承	配布資料の中に鋼桁の支承図は添付されておりますが、PC桁の支承図が添付されておられません。 図面の配布及び規格の明示をお願いします。	数量等が不明確となっていたもののうち、開示できるものについては、ホームページ上で開示を行いましたので、そちらをご確認願います。(開示できないものについては、入札参加者でご検討願います。)
26	参考図P7	26		参考図面7に記載の通り、支障物の撤去は①標識 ②照明 ③ガードレール・防護柵 のみと考えてよいでしょうか。ご教示ください。	支障物の撤去は標識、照明、ガードレール、防護柵としています。

27	第三者損害の補償処理に関する説明書	27		説明書に記載されている第三者損害の補償に関する沿道建物で、解体する建物等がある場合はすべて第三者が行うと考えてよいでしょうか。ご教示ください。	都市計画範囲に入る沿道建物の除却については、建物所有者によるものとします。
28	設計書 仮設護岸工	28		河川切り直し中の必要河川断面積を開示願います。又、制約条件があればご教示願います。	必要河川断面積は、約18.5㎡で、制約条件は、計画流量70m <sup>3</sup> /s、余裕高80cmとします。
29	特記仕様書P3	29	1-11部分使用	部分引渡しが平成31年8月頃に軌道工事に引き渡すようになっていますが、全ての構造物と施工ヤード等が引渡しの対象でしょうか。ご教示ください。	全ての構造物と施工ヤード等が引渡しの対象となります。
30	全般	30		場所打ち杭等で大量の工事用水を使用しますが、工事用水の確保はどのように考えられているのでしょうか。ご教示ください。	受注者の責任において必要な用水を確保願います。
31	全般	31		工事用電源の確保はどのように考えられているのでしょうか。ご教示ください。	受注者の責任において必要な電源を確保願います。
32	特記仕様書P2 参考図P53	32	1-6 他工事との協議	本工事区間に一部重複・接近して、地下埋設物移設工事等を別途発注する予定とありますが、基礎工の土留め施工に先立ち、支障埋設物は全て移設されるとの認識でよろしいでしょうか。また、移設後の埋設物との近接状況はどのようになるのでしょうか。ご教示ください。	基礎工の土留め施工までに支障する埋設物を支障しない位置に移設予定とご理解願います。
33	特記仕様書P8	33	4-1 道路使用	道路使用時間帯についての記載がありますが、道路使用計画図の配布をお願い致します。	道路使用計画図の開示は行いません。
34	技術提案書	34	①コスト削減策(契約時VE)(様式4)	加算点は提案した削減額に応じて付与されるのでしょうか。削減額が最大の会社を満点として、それ以外の会社は按分して算出するのでしょうか。	提案内容を主に実現可能性の面から確認し、その上でコスト削減効果の大きなものを優位に評価します。
35	技術提案書	35	②コスト削減策(契約後VE)(様式5)	加算点は提案した削減額に応じて付与されるのでしょうか。削減額が最大の会社を満点として、それ以外の会社は按分して算出するのでしょうか。	提案内容を主に実現可能性の面から確認し、その上でコスト削減効果の大きなものを優位に評価します。
36	技術提案書	36	③未発注工種橋脚の(P2～P11)の基礎杭に係る、想定される施工上の課題抽出と課題対応策(設計への反映含む(様式6))	標準工法と鋼管杭の仕様をご教示ください。未発注工事のため契約時VE・契約後VEの対象となっていませんが、鋼管杭施工上の課題解決のための提案だけでは評価対象とならないでしょうか。また技術提案の対象となっているため、本工事の追加工事となるのでしょうか。	本工事の追加工事を前提として、「技術提案書作成にあたっての留意事項」の評価基準に係る提案を行うようご理解願います。
37	技術提案書	37	⑥確実な工事進捗管理方策(様式9)	全体工程に係る標準案をご教示ください。また、加算点は提案した工程短縮期間に応じて付与されるのでしょうか。短縮期間が最大の会社を満点として、それ以外の会社は按分して算出するのでしょうか。	標準工程表の開示は行いません。工事進捗管理は、標準工程との比較ではなく、事業施行上の重要ポイント(構造物の引き渡し日)が守れるのか、あるいは短縮可能かという観点から評価します。さらに特記仕様書に記載された北大阪急行への部分引渡期限が、確実に担保される提案は評価され、その上で、実現可能性が高く工程短縮に寄与するものは優位に評価します。
38	技術提案書	38	入札参加者(様式10)	「当工事に類似する実績」とは、入札説明書に示される「事業者の施工能力に関する要件」を全て満たす実績のみが評価対象となるのでしょうか。もしくはその一部、または規模を問わない類次の工事实績でもよろしいでしょうか。また、加算点は条件を満たす工事实績の件数で算出されるのでしょうか。	入札説明書2-(4)の記載以外に、当工区と施設内容や工事規模、工事期間が近似している工事または上回る工事を対象とします。
39	技術提案書	39	技術者(様式11)	「当工事に類似する実績」とは、入札説明書に示される「事業者の施工能力に関する要件」を全て満たす実績のみが評価対象となるのでしょうか。もしくはその一部、または規模を問わない類次の工事实績でもよろしいでしょうか。また、加算点は条件を満たす工事实績の件数で算出されるのでしょうか。	入札説明書2-(4)の記載以外に、当工区と施設内容や工事規模、工事期間が近似している工事または上回る工事を対象とします。評価については、申請された工事への関与の程度や職責の高低などを中心に評価します。

40	技術提案書	40	企業の信頼性・社会性地域貢献(様式12)	加算点は提案した発注額に応じて付与されるのでしょうか。発注額が最大の会社を満点として、それ以外の会社は按分して算出するのでしょうか。	発注額に着目し評価します。
41	一般競争入札説明書	41	10 低入札価格調査	「なお、技術提案における契約時VEによりコスト縮減が提案されている場合は、その額を考慮し、「調査基準価格」を算定する。」となっていますが、提案したコスト縮減額(技術提案様式4の契約時VE)の全額が考慮されるのでしょうか。	入札説明書第10項従い、提案されたコスト縮減額(直接工事費、共通管理費、現場管理費、一般管理費)に相当する価格だけ「調査基準価格」を下方へスライドします。
42	構造図	42	図面番号 43～53 82～89 92～117	鋼材の防錆仕様を教えてくださいませんか。	数量等が不明確となっていたもののうち、開示できるものについては、ホームページ上で開示を行いましたので、そちらをご確認願います。(開示できないものについては、入札参加者でご検討願います。)
43	構造図	43	図面番号 82～84	構造図に、Hs1鋼ホーム桁 シュー(固定)、Hs1鋼ホーム桁 シュー(可動)の図面が含まれておりません。開示いただけませんか。	図面番号83のとおりとします。
44	構造図 設計書	44	図面番号 93、95、97、99、101、103、105、107、109、111 ページ番号 15～22	構造図において、鋼製橋脚P2～P11の数量総括表には鋼管杭(φ=1.3m)が含まれた重量が記載されています。設計書における鋼製橋脚の「材料・製作」の重量に準じた数量総括表を提示願います。	数量等が不明確となっていたもののうち、開示できるものについては、ホームページ上で開示を行いましたので、そちらをご確認願います。(開示できないものについては、入札参加者でご検討願います。)
45	構造図	45	図面番号 93、95、97、99、101、103、105、107、109、111、113、115、117	構造図において、鋼製橋脚P2～P14の数量総括表に記載されている積算用数量総括表には鋼製脚本体とアンカーフレームとの数量の合計が記載されているようです。積算用数量総括表における鋼製脚本体とアンカーフレーム各々の数量内訳を提示願います。	数量等が不明確となっていたもののうち、開示できるものについては、ホームページ上で開示を行いましたので、そちらをご確認願います。(開示できないものについては、入札参加者でご検討願います。)
46	設計書	46	積算基準について	設計書鏡では、基礎単価・共通単価はH28.04月と記載がありますが、ホームページ等で公開されていますか。または閲覧可能でしょうか。	基礎単価・共通単価はホームページ等で公開及び閲覧は行いません。
47	設計書	47		掘削長が40mを超える場所打ち杭の積算基準をご教示ください。	日本建設機械施工協会の「大口径岩盤削孔工法の積算」とご理解願います。
48	設計書	48		場所打ち杭工(オールケーシング工・全旋回式オールケーシング工)の積算基準について、大阪市・国交省等の基準では摘要範囲が掘削長40m以下となっています。40mを超える場合については、日本建設機械施工協会の「大口径岩盤削孔工法の積算」に準拠すると考えてよろしいでしょうか。	日本建設機械施工協会の「大口径岩盤削孔工法の積算」とご理解願います。
49	設計書	49		場所打ち杭のコンクリート規格が「30-12-25N」となっています。「設計強度」は「呼び強度」と理解しました。よろしいでしょうか。「スランプ12cm」は、一般の値よりもかなり小さいと想定され、施工が困難と想定されます。ご確認ください。以上、2点、ご教示ください。 なお、国交省の基準では「30(呼び強度)-18-40N」となっております。場所打ち杭のコンクリート規格が「30-12-25N」となっています。「設計強度」は「呼び強度」と理解しました。よろしいでしょうか。「スランプ12cm」は、一般の値よりもかなり小さいと想定され、施工が困難と想定されます。ご確認ください。	設計強度は、呼び強度ではなく構造計算に用いた設計基準強度とします。 スランプは、品質に問題が無いことを確認できれば変更は可能とします。
50	設計書	50	p.29～34	PC桁工(Pt1～Pt10)の摘要欄に支承部含むとありますが、詳細がわかりません。支承・落橋防止工・伸縮装置等の付属物の仕様・詳細図を開示願います。	数量等が不明確となっていたもののうち、開示できるものについては、ホームページ上で開示を行いましたので、そちらをご確認願います。(開示できないものについては、入札参加者でご検討願います。)
51	設計書	51	p.29	PC桁工(Cbp1～Cbp3)については、材料・製作のみの計上で架設工が計上されておられません。架設工および支承・落橋防止工・伸縮装置等の付属物工は変更対象と考えてよろしいでしょうか。 今回の設計に計上する必要がある場合は、設計書の計上項目および仕様・詳細図を開示願います。	設計書p.29のPC桁工(Cbp1～Cbp3)3径間連続PC箱桁の材料・製作の表記は、材料・製作・架設ですので架設工は計上されています。 なお、数量等が不明確となっていたもののうち、開示できるものについては、ホームページ上で開示を行いましたので、そちらをご確認願います。(開示できないものについては、入札参加者でご検討願います。)

52	特記仕様書P1	52	1-1適用 3	設計図書中に「参考」と表記された項目は、「施工方法等工事目的物を完成させるために必要な一切の手段については、受注者とその責任において定める」との記載があり、任意仮設の扱いとなっております。これら「参考」事項については、当初積算時の想定と現地条件が異なることによって仮設計画に変更が生じた場合、設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	任意仮設なので原則変更しませんが、必要に応じて協議対象とします。
53	特記仕様書p.2	53	1-4工事用地	工事用ヤードが3か所(①(仮称)新箕面駅東側の市営駐車場跡地付近、②調整池跡地付近(アウディジャパン販売(株)管理用地含む。)、③COM1号館用地内)指定されているが、工事着手時に確実に使用可能である計画として良いでしょうか。	工事着手時に使用可能とご理解願います。
54	特記仕様書p.2 設計書p.48	54	1-4工事用地	上記の工事用ヤードは、必要に応じ地権者と賃貸契約を結ぶこととありますが、設計書の共通仮設費には役務費:借地料の計上がありません。借地料等が発生する場合は変更対象と考えてよろしいでしょうか。今回の設計に計上する必要がある場合は、設計書の計上項目および指定箇所の借地面積・借地期間をご教示ください。	工事ヤードに関する費用は営繕費で計上しています。
55	特記仕様書、P6,7	55		特記仕様書に鋼製橋脚のコンクリートの仕様が記載されておりません。フーチング、充填コンクリート、アンカーボルトへの巻立てコンクリート等のコンクリート仕様をご教示ください。	鋼製橋脚のコンクリートの仕様は、フーチング30N/mm <sup>2</sup> 、充填コンクリート18N/mm <sup>2</sup> 、根巻きコンクリート21N/mm <sup>2</sup> とします。
56	技術提案書作成にあたっての留意事項	56		技術提案「②、④、⑤、⑥」に対して、未発注工事橋脚(P2～P11)の基礎杭は対象外と考えてよろしいでしょうか。もしくは、⑥について記載する必要がある場合は、暫定的に一般的な鋼管杭工と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	対象外とします。
57	構造図	57		橋脚(P2～P11)フーチング構造寸法:10,400か、10,500か)に関し、図面相互において、矛盾がございます。正しい寸法をご教示ください。具体的には、構造図p.4と以下それぞれp.92,p.94,p.96,p.98,p.100,p.102,p.104,p.106,p.108,p.110に不整合があります。	橋脚(P2～P11)フーチング構造寸法は10,400とします。
58	構造図	58		高架橋区間全体一般図(その1)縦横断面図と高架橋区間全体一般図(その4)で、P1橋脚の杭種が異なります。場所打ち杭と鋼管杭のどちらが正しいでしょうか	P1橋脚の杭種は場所打ち杭としています。
59	構造図	59		提示された資料を拝見しましたが、配筋図が不足しております。工事に係る全ての配筋図を開示していただけないでしょうか	工事契約後に通知します。
60	構造図	60		高架橋区間全体一般図(その1、5)と構造図で、A1橋台とP14橋脚の杭本数が異なります。正しい本数をご教示ください。	A1橋台の杭本数は6本で、P14橋脚の杭本数は9本としています。
61	構造図	61		高架橋区間全体一般図(その1、5)と構造図で、P7橋脚の杭長が異なります。正しい杭長をご教示ください。	P7橋脚の杭長は36.0mとしています。
62	入札説明書	62	低入札価格調査	「調査基準価格」算定における、直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費ですが、以下の項目はどの費用に計上されていますか。 ・工場製作費 ・副資材費 ・間接労務費 ・工場管理費	工場製作費、副資材費、間接労務費、工場管理費は直接工事費に計上願います。
63	入札説明書	63	入札保証金及び契約保証金に関する事項	契約保証金納付に伴い、一般管理費の補正は適正に計上されているものと考えてよろしいですか。	一般管理費の補正は適正に計上しています。
64	全般	64		資材の特別調査品目がありましたら、単価を公表願います。	特別調査品目はありません。



65	本工事内訳書	65		<p>鋼桁・鋼脚の積算基準は、何を準用されていますか。</p> <p>以下質問内容は、国交省の道路橋の積算基準を参考に質問いたします。</p> <p>①製作工、工場塗装工、間接労務費、工場管理費含まれると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>②鋼板のエキストラは、板厚エキストラが計上されていますでしょうか。</p> <p>③国交省では、H28年度 鋼製橋脚の「製作工数」算出における「橋梁型式別標準工数」が変更になっておりますが、反映されておりますか。</p> <p>④間接労務費率は37.6%、工場管理費率は28.8%でよろしいでしょうか。</p> <p>⑤「工場製作における工数単価はH28年度26,400円」でよろしいでしょうか。</p> <p>⑥仮組立は、実仮組で簡略化は無いものと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>⑦アンカーフレームの材料は、図面「各橋脚 数量総括表」に計上済の数量と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>⑧P2橋脚を例としたとき、148号単価表で数量が106tの記載がありますが、図面「P2橋脚 数量総括表」の積算用数量総括表に記載の加工重量 90.711tとあります。この差が、アンカーフレームの質量と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>⑨本工事の全体金抜き設計書・詳細図及び数量計算書1式を配布願います。</p> <p>⑩塗装仕様をご教示願います。</p>	<p>平成27年度国土交通省土木工事標準積算基準及び平成27年度日本建設機械施工協会の橋梁架設工事の積算を適用しています。</p> <p>①製作工、工場塗装工、間接労務費、工場管理費含まれるとご理解願います。</p> <p>②計上しています。</p> <p>③平成27年度を適用しています。</p> <p>④間接労務費率は37.6%、工場管理費率は28.8%でご理解願います。</p> <p>⑤平成27年度を適用しています。</p> <p>⑥仮組立は、実仮組で簡略化は無いものをご理解願います。</p> <p>⑦図面「各橋脚 数量総括表」に計上済の数量とご理解願います。</p> <p>⑧ホームページ上で開示しました。</p> <p>⑨工事契約後に配布します。</p> <p>⑩ホームページ上で開示しました。</p>
66	入札説明書	66	(4)事業者の施工能力に関する要件	<p>鉄道事業者発注工事において、高架化工事が完成、検査、引き渡し完了し運行が始まった工事実績を有します。鉄道事業者発注工事は単年度毎に契約されるケースが多く、残りの附帯工事は施工中です。引渡し、運行開始した高架化工事までを今回工事の実績要件を満たす工事として取扱いいただけるかご教示願います。</p>	<p>連立事業のように、長期にわたる工事を一定期間毎で分割契約している場合は、既に引き渡しが完了している工事範囲が、入札説明書に記載する要件を充足している必要があるとご理解願います。</p>
67	設計書p.1～2	67	準備工 歩道掘削:アスファルト舗装 t=40	<p>①歩道切削となっておりますが、舗装版取り壊しではなく切削による撤去とのお考えでしょうか。ご教示願います。</p> <p>②処分費は切削殻とのお考えでしょうか。ご教示願います。</p> <p>③施工参考図(P14)に、歩道切削及び路側帯撤去の「現況→切削後」の舗装断面構成が御座いますが、路盤工の撤去及び処分費も見込まれているのでしょうか。撤去範囲深さ及び数量等も併せてご教示願います。</p> <p>④側溝・柵の撤去も見込まれているのでしょうか。撤去される場合は詳細数量及び処分数量をご教示願います。</p>	<p>①舗装版取り壊しとご理解願います。</p> <p>②撤去殻とご理解願います。</p> <p>③施工参考図のとおりで、路盤工の撤去及び処分費も計上しています。</p> <p>④施工参考図のとおりで、側溝・柵の撤去も計上しています。</p>
68	設計書p.1～2	68	準備工 歩道掘削:インターロッキング舗装t=60	<p>①歩道切削となっておりますが、インターロッキング舗装は市場単価によるインターロッキングブロック撤去ではなく切削とのお考えでしょうか。ご教示願います。</p> <p>②撤去するインターロッキングの処理方法についてご教示願います。</p> <p>③施工参考図(P14)に、歩道切削及び路側帯撤去の「現況→切削後」の舗装断面構成が御座いますが、路盤工の撤去及び処分費も見込まれているのでしょうか。撤去範囲深さ及び数量等も併せてご教示願います。</p> <p>④側溝・柵の撤去も見込まれているのでしょうか。撤去される場合は詳細数量及び処分数量をご教示願います。</p>	<p>①インターロッキング舗装撤去とご理解願います。</p> <p>②コンクリート殻処分とご理解願います。</p> <p>③施工参考図のとおりで、路盤工の撤去及び処分費も計上しています。</p> <p>④施工参考図のとおりで、側溝・柵の撤去も計上しています。</p>
69	設計書p.1～2	69	準備工 路側帯撤去	<p>①撤去内容は縁石撤去となるのでしょうか。詳細数量をご教示願います。</p> <p>②施工参考図(P14)の平面にて、路側帯植栽が旗揚げされていますが、植栽に関する撤去は見込まれているのでしょうか。ご教示願います。</p> <p>③植栽撤去される場合、詳細数量及び処分数量をご教示願います。</p>	<p>①施工参考図のとおりとします。</p> <p>②植栽の撤去は含まれていません。</p> <p>③植栽の撤去は含まれていません。</p>
70	設計書p.1～2	70	準備工 標識撤去:単立柱、片持式支柱、門型支柱	<p>①既設標識柱の詳細構造をご教示願います。</p> <p>②特記仕様書(P8) 1-2 標識類撤去にて、撤去後は再利用する事との記載が御座いますが、移設先及び移設先での標識基礎詳細が不明ですのでご教示願います。</p> <p>③既設の基礎詳細及び処分数量をご教示願います。</p>	<p>①一般的な標識柱と考えご検討願います。</p> <p>②移設先は協議により決定します。基礎詳細は一般的な基礎と考えご検討願います。</p> <p>③一般的な基礎と考えご検討願います。</p>
71	設計書p.1～2	71	準備工 照明撤去:歩道照明	<p>①既設照明柱の詳細構造をご教示願います。</p> <p>②撤去後の処理方法についてご教示願います。</p> <p>③既設の基礎詳細及び処分数量をご教示願います。</p>	<p>①一般的な構造と考えご検討願います。</p> <p>②協議により決定します。</p> <p>③一般的な基礎と考えご検討願います。</p>

72	設計書p.1～2	72	準備工 防護柵撤去:ガードレール	①撤去するガードレール規格をご教示願います。 ②撤去後の処理方法についてご教示願います。	①一般的な規格と考えご検討願います。 ②協議により決定します。
73	設計書p.1～2	73	準備工 防護柵撤去:転落・横断防止柵	①撤去する転落・横断防止柵規格をご教示願います。 ②撤去後の処理方法についてご教示願います。 ③内訳数量は77mとなっておりますが、施工参考図(P7)の撤去物一覧の数値では46mと思われます。内訳数値が正として宜しいですか。	①一般的な規格と考えご検討願います。 ②協議により決定します。 ③内訳数量は、77mとします。
74	設計書p.1～2	74	準備工 防護柵撤去:フェンス	①撤去するフェンス規格をご教示願います。 ②撤去後の処理方法についてご教示願います。	①一般的な規格と考えご検討願います。 ②協議により決定します。
75	設計書p.1～2	75	準備工 防護柵撤去:ガードパイプ	①撤去するガードパイプ規格をご教示下さい。 ②撤去後の処理方法についてご教示下さい。 ③内訳数量は84mとなっておりますが、施工参考図(P7)の撤去物一覧の数値では50mと思われます。内訳数値が正として宜しいですか。	①一般的な規格と考えご検討願います。 ②協議により決定します。 ③内訳数量は、84mとします。
76	設計書p.1～2	76	準備工	撤去物の移設・復旧については別途工事と考えてよろしいですか。	撤去物の移設・復旧については別途工事をご理解願います。
77	設計書p.1～2	77	準備工	試掘工について、各箇所の掘削体積・掘削深さをご提示願います。	平面形状は1.0m×2.0m、深さは1.5m～3.0を標準としています。
78	設計書p.1～2	78	準備工 仮設護岸工 P8～P12:1期施工、2期施工	①仮設護岸工に関する詳細数量をご教示願います。 ②本工事にて撤去まで行うのでしょうか。 ③在场日数は何日見込まれているのでしょうか。 ④施工時期については特記仕様書(P2)より、渇水期施工と記載されていますが、在场については通年とのお考えでしょうか。 ⑤河川区域内施工になると思われますが、見込まれている鋼矢板・杭の施工方法をご教示願います。	①ホームページ上で開示しました。 ②撤去は含まれています。 ③27ヶ月程度で計画しています。 ④通年で計画しています。 ⑤圧入工法で計画しています。
79	設計書p.1～2	79	準備工 仮設構台工 P8～P12、P13	①仮設構台工に関する詳細数量をご教示願います。 ②本工事にて撤去まで行うのでしょうか。 ③在场日数は何日見込まれているのでしょうか。 ④施工時期については特記仕様書(P2)より、渇水期施工と記載されていますが、在场については通年とのお考えでしょうか。 ⑤河川区域内施工になると思われますが、見込まれている鋼矢板・杭の施工方法をご教示願います。	①ホームページ上で開示しました。 ②撤去は含まれています。 ③27ヶ月程度で計画しています。 ④通年で計画しています。 ⑤圧入工法で計画しています。
80	施工参考図 p.26～27	80	準備工	仮設護岸・仮設構台工において構台支柱と鋼矢板が兼用となっておりますが、設計として成立しない可能性があります。仮設の構造変更が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	必要に応じて別途協議します。
81	施工参考図 p.26～27	81	準備工	仮設護岸工(2期)においてタイロッド・控え杭と先行構築の橋脚が干渉する可能性があります。仮設の構造変更が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	必要に応じて別途協議します。
82	設計書p.1～2	82	準備工	施設擁壁・護岸ブロック撤去工について、含まれる工種・数量をご提示願います。場外搬出処分が発生する場合は処分品目・数量および指定処分地・運搬距離をご提示願います。また、復旧工は別途協議と考えてよろしいですか。	擁壁・護岸ブロック撤去工の数量は、ホームページ上で開示しました。処分先の開示は行いません。復旧工は別途工事とします。
83	設計書p.2～11	83	作業土工	掘削残土については、現地仮置・埋戻流用・剩土搬出で計上されていますが、狭隘場所での施工であり現地仮置は困難と考えられます。場外仮置場への運搬および流用土の積込運搬が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	必要に応じて別途協議します。
84	設計書p.2～11	84	作業土工	掘削工について、土留め自立(1段梁施工まで)・切梁腹起し(H≤5m、バックホウ)・切梁腹起し(H>5m、クラムシエル)の区分毎の数量をご提示願います。	掘削工の主要数量について、ホームページ上で開示しました。

85	設計書p.2～11	85	作業土工	土留め工(鋼矢板)について、含まれる工種・数量および供用期間をご提示願います。	土留め工の主要数量について、ホームページ上で開示しました。
86	施工参考図p.15～18	86	作業土工	P2～7の土留め工についてはP4の図面のみ提示となっておりますが、路面覆工・土留支保工の仕様・数量は共通と考えてよろしいですか。また、鋼矢板打設長は参考図p.15に準拠、鋼矢板仕様はⅢ型と考えてよろしいですか。	土留め工については、P4を代表とし、仕様・数量は共通で計画しています。鋼矢板打設長はP18を準拠、Ⅲ型と考えご検討願います。
87	設計書p.6～7 施工参考図p.29～35	87	作業土工	P8～11の土留め工平面延長が、設計書では30mとなっておりますが、参考図では37m程度となっております。どちらが正しいでしょうか。	30mとします。
88	施工参考図p.36～37	88	作業土工	P12の土留め工について、仮設護岸側の土留支保工については背面土砂が無く、反力が取れない可能性があります。仮設の構造変更が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	必要に応じて別途協議します。
89	施工参考図p.19	89	作業土工	P14・Rc15～19の土留め工において、掘削範囲が近接する箇所については、片側を先行掘削した場合に土留め支保工の反力が取れない可能性があります。仮設の構造変更・補助工法等が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	必要に応じて別途協議します。
90	設計書p.11～13	90	オールケーシング工	各橋脚毎の杭の土被り長をご提示願います。	構造図でご確認願います。
91	設計書p.11～13 特記仕様書p.3	91	オールケーシング工	杭残土については、大阪湾広域臨海環境整備センター(大阪基地)への搬出・性状は陸上残土と考えてよろしいですか。また、性状・処分地の変更およびセメント改良等の補助工法が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	杭残土の搬出先は、大阪湾広域臨海環境整備センター(大阪基地)としています。補助工法は必要に応じて協議します。
92	設計書p.11～13	92	オールケーシング工	各杭について配筋図の提示がありません。各杭毎の鉄筋径別重量をご提示願います。	工事契約後に通知します。
93	設計書p.11～13	93	オープンケーソン工	各ケーソンについて、本体・底版・頂版の施工に必要な、鉄筋・型枠・コンクリート・足場・支保工の仕様・数量をご提示願います。	オープンケーソン工の主要数量について、ホームページ上で開示しました。
94	設計書p.11～13 特記仕様書p.8	94	オープンケーソン工	残土については、大阪湾広域臨海環境整備センター(大阪基地)への搬出となっておりますが、性状は陸上残土と考えてよろしいですか。また、性状・処分地の変更およびセメント改良等の補助工法が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	残土の搬出先は、大阪湾広域臨海環境整備センター(大阪基地)としています。補助工法は必要に応じて協議します。
95	設計書p.11～13 特記仕様書p.8	95	オープンケーソン工	底版コンクリートの施工に伴い、泥水の水替え・濁水処理等が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	必要に応じて別途協議します。
96	設計書p.13～29	96	躯体コンクリート工	各フーチングについて基礎砕石・均しコンクリート型枠の計上がありませんが、変更対象でしょうか。計上が必要な場合は、計上項目および厚み・面積をご提示願います	躯体コンクリート工の型枠で構造図により計上願います。
97	設計書p.13～29 構造図p.90～91	97	躯体コンクリート工	A1・P1について構造図に基礎砕石・均しコンクリートの表記がありません。構造・寸法をご提示願います。また、設計書の計上数量が71m <sup>2</sup> ・74m <sup>2</sup> となっておりますが、構造図では82m <sup>2</sup> ・86m <sup>2</sup> 程度となっております。どちらが正しいでしょうか。	71m <sup>2</sup> ・74m <sup>2</sup> とします。
98	設計書p.13～29 特記仕様書p.6	98	躯体コンクリート工	橋脚のフーチングと梁柱、および、ラーメン高架橋の地中梁と梁柱ではW/Cが異なります。部分別のコンクリート数量をご提示願います。また、鋼製橋脚の根巻コンクリートおよび階段コンクリートの規格をご提示願います。	部分別のコンクリート数量をホームページ上で開示しました。コンクリートの規格は、根巻コンクリート21N/mm <sup>2</sup> 、階段コンクリート30N/mm <sup>2</sup> とします。
99	設計書p.13～29	99	躯体コンクリート工	配筋図が無い場合、鉄筋工の詳細数量について検証できません。径別の施工数量変更およびガス圧継手・機械継手が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	配筋図は工事契約後に通知します。



100	設計書p.13～29	100	躯体コンクリート工	各フーチング・橋脚に計上されている足場について種類(枠組・単管)および安全ネットの有無をご提示願います。また、設計書数量が変更となる場合は別途協議と考えてよろしいですか。	足場は枠組足場で安全ネット有で計上しています。数量変更の場合は別途協議します。
101	設計書p.13～29	101	躯体コンクリート工	各フーチング・橋脚に計上されている支保工について種類(パイプサポート・くさび結合)および支保耐力をご提示願います。また、設計書数量が変更となる場合は別途協議と考えてよろしいですか。	支保工はくさび結合で支保耐力は各々必要な耐力で計上しています。数量変更の場合は別途協議します。
102	設計書p.13～29	102	鋼製橋脚工	梁図・柱図・各部材の詳細図および数量計算書をご提示願います。また、ブロック割重量の提示をお願いします。	詳細図は工事契約後に通知します。 鋼製橋脚工の主要数量をホームページ上で開示しました。
103	設計書p.13～29	103	鋼製橋脚工	P2～14鋼製橋脚の断面は3.5m×3.5m共通となっておりますが、基面部およびアンカーフレームはアンカーボルト設置部分を考慮した場合4.2m×4.2m程度となり、陸上輸送の特別認可寸法(3.5m×3.5m)を超過するため陸上輸送が不可能となる可能性があります。部材の分割・補強等の構造変更が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	必要に応じて別途協議します。
104	設計書p.13～29	104	鋼製橋脚工	工場塗装・現場塗装・工場溶接・現場溶接の詳細仕様・数量が不明であり見積困難です。ご提示願います。	鋼製橋脚工の主要数量をホームページ上で開示しました。
105	設計書p.13～29	105	鋼製橋脚工	P2～14鋼製橋脚の設置工における施工ヤード・使用クレーンについて条件が示されておりませんので計画困難です。参考図等の施工条件をご提示願います。	鋼製橋脚工の主要数量をホームページ上で開示しましたので、使用クレーンを選定願います。
106	設計書 p.29～42	106	Pt1～Pt10桁	桁製作の詳細図・配筋図・PC鋼線配置図、および数量計算書をご提示願います。また、各主桁1本当り重量の提示をお願いします。	PC桁工の主要数量をホームページ上で開示しました。
107	設計書 p.29～42	107	Cbp1～Cbp3桁	桁製作の配筋図・架設支保工詳細図(枠組・鋼製)、および数量計算書をご提示願います。	PC桁工の主要数量をホームページ上で開示しました。
108	設計書 p.29～42	108	Dg1桁・Dg2桁・ホーム桁	主桁・各部材・鋼製型枠・床版等の詳細図および数量計算書をご提示願います。また、ブロック割重量の提示をお願いします。	詳細図は工事契約後に通知します。 鋼合成桁工の主要数量をホームページ上で開示しました。
109	設計書 p.29～42	109	Dg1桁・Dg2桁・ホーム桁	工場塗装・現場塗装・工場溶接・現場溶接の詳細仕様・数量が不明であり見積困難です。ご提示願います。	鋼合成桁工の主要数量をホームページ上で開示しました。
110	設計書p.29～34 施工参考図p.46～52	110	PC桁工・鋼合成桁工	参考図には、各桁工の架設計画について、施工ヤード・使用クレーン・架設工法が示されていますが、現地条件変更により架設工法が変更となった場合は別途協議と考えてよろしいですか。	必要に応じて別途協議します。
111	設計書p.29～34 施工参考図p.46～52	111	PC桁工・鋼合成桁工	送出し架設に係る桁の降下量・軌条設備長・反力等の数値および、設備の規格・数量の提示をお願いします。また、送出し・降下時以外は、昼間作業と考えてよろしいですか。	詳細は工事契約後に通知します。 送出し・降下時以外は、昼間作業とします。
112	設計書p.42～47	112	躯体コンクリート工 Pt1～Pt10 床版・高欄 防水コンクリート	構造図にて、防水コンクリート規格の確認が出来ませんでした。規格及び詳細をご教示願います。	防水コンクリートの規格は18N/mmとします。
113	設計書p.42～47	113	橋梁付属物工 排水管:VP管	排水管(VP管)について、工事内訳書では1式の記載はありますが詳細が確認できません。各規格及び数量のご教示願います。	橋梁付属物工の主要数量をホームページ上で開示しました。
114	設計書p.42～47	114	橋梁付属物工 目隠し板	施工延長ですが、本工事内訳書では470mですが、構造図(P134)では、設置範囲403mとなっております。本工事内訳書の数値が正と考えて宜しいですか。	施工延長は470mとします。

115	設計書p.48	115	共通仮設費 (運搬費) 運搬費	①運搬費にて見込まれている、建設重機及び台数(回数)及び仮設材運搬質量についてご教示願います。 ②重機運搬においては、運搬中の損料費を見込まれているのでしょうか。ご教授願います。 ③運搬基地については箕面市役所を想定されているのでしょうか。運搬距離をご教示願います。	①②運搬費の内訳の開示は行いません。 ③運搬基地については工事基地を想定しています。
116	設計書p.48	116	共通仮設費 (事業損失防止施設費) 事前調査費	事前調査費にて見込まれている、詳細内容についてご教示願います。	事前調査費は、沿道補償に係る事前調査費とご理解願います。
117	設計書p.48	117	共通仮設費 (安全費) 安全費	安全費にて見込まれている、交通誘導員数についてご教示願います。	安全費の内訳の開示は行いません。
118	特記仕様書 P3	118	1-11 部分使用	本工事で施工する構造物は、北大阪急行電鉄(株)が発注予定の軌道工事等に使用すると記載がありますが、下記の仮設構造物も含まれているのでしょうか。 ・仮設護岸工 P8～P12: 1期施工、2期施工 ・仮設構台工 P8～P12、P13	含まれていません。
119	構造図	119		橋脚(P2～6、P8～11)の基礎杭に関し、鋼管杭の肉厚が図示されていません。 提案③において、コスト削減が求められています。 P7基礎杭同様、上記鋼管杭の肉厚の開示をお願い致します。	鋼管杭の肉厚はP7基礎杭を参考とし、ご検討願います。
120	特記仕様書 P9	120	第4章その他 4-1 2. 夜間	①萱野交差点の道路使用(1時～5時)は、Dg2送出し時及び桁降下時の桁移動時の断続的な通行止めですか。もしくは240分間の通行止めですか。 ②国道423号芝北橋の道路使用(23時～6時)は、Dg1送出し時及び桁降下時の桁移動時の断続的な通行止めですか。もしくは420分間の通行止めですか。 ③市道船場東13号の道路使用(23時～6時)は、Cbp1の支保工設置・撤去時に420分間の通行止めが可能と考えてよいですか。	①240分間の通行止めとご理解願います。 ②通行止めは行いません。特記仕様書のとおりとします。 ③通行止めは行いません。特記仕様書のとおりとします。
121	構造図	121	下部工全般	下部工関係(場所打ちRC杭含む)における、鉄筋配筋図をご提示願いませんか。	配筋図は工事契約後に通知します。
122	構造図 P91	122	P1橋脚構造 一般図	張出部のハンチ高が、側面図では1050、横断面図では700となっています。どちらが正でしょうか。	張出部のハンチ高は700とします。
123	構造図 P43 ～53、P92～ 117	123	鋼合成桁、鋼 製橋脚	詳細検討のため、各図面のCADデータを御支給願います。	CADデータは工事契約後に提供します。
124	施工参考図 P1～54	124	鋼合成桁、鋼 製橋脚	詳細検討のため、各図面のCADデータを御支給願います。	CADデータは工事契約後に提供します。
125	施工参考図 P46、P47	125	鋼合成桁	送出し時の検討の結果、桁の補強が必要となった場合、設計変更は可能と考えてよろしいですか。	必要に応じて別途協議します。
126	施工参考図 PP47	126	鋼合成桁	送出し時の検討の結果、桁の補強が必要となった場合、設計変更は可能と考えてよろしいですか。	必要に応じて別途協議します。
127	共通事項	127	諸経費	イメージアップ(率分)の計上は必要でしょうか。 又、イメージアップ(積上分)の計上が必要であれば内容をご教示下さい。	率分は計上するものをご理解願います。
128	共通事項	128	諸経費	経費計算における補正区分(地方部、市街地、大都市)をご教示下さい。 又、地方部の場合、「一般交通の影響を受ける」及び「一般交通の影響を受けない」のいずれであるかをご教示下さい。	経費計算における補正区分は市街地としています。

129	共通事項	129	諸経費	国交省・土木工事標準積算基準(Ⅰ-2-②-4 表1 工種区分)におきまして、本工事の工種区分は「鋼橋架設工事」でよろしいでしょうか。	工種区分は「鋼橋架設工事」としています。
130	共通事項	130	不稼動日	不稼動日につきまして、休日のお考えをご教示下さい。 ※土曜日、日曜日及び祝日の作業を考慮する等。	休日は基本的に土曜日、日曜日、祝日、夏期休暇、年末・年始休暇とご理解願います。
131	共通事項	131	市販単価	物価資料の単価につきまして、二誌の【平均 or 安値】のいずれを採用とお考えでしょうか。ご教示下さい。	物価資料の単価につきまして、二誌の安値を採用しています。
132	共通事項	132	損料単価	機械損料年度は何年度とお考えでしょうか。ご教示下さい。	機械損料年度は平成27年度としています。
133	共通事項	133	機械賃料	クレーン機械の賃料につきまして、長期割引の対象とお考えでしょうか。	長期割引の対象としていません。
134	共通事項	134	スクラップ	積算上、スクラップの運搬費は計上するとお考えでしょうか。ご教示下さい。 運搬費を計上する場合、運搬先をご教授下さい。若しくは運搬距離をご教示下さい。	スクラップの運搬費は計上していません。
135	共通事項	135	スクラップ	スクラップは諸経費の対象とお考えでしょうか。 諸経費対象の場合、いずれの経費対象とお考えでしょうか。 ①共通仮設費 ②現場管理費 ③一般管理費 又、スクラップの規格(H1、H2等)は何をお考えでしょうか。ご教示下さい。	スクラップは全ての諸経費の対象としています。 スクラップの規格はH1としています。
136	特記仕様書	136	表紙 前払金	前払金は40%以内と記載されていますが、前払金支出割合区分はどれとお考えでしょうか。ご教示下さい。 ①0%～5%以下 ②5%～15%以下 ③15%～25%以下 ④25%～35%以下	工事契約後に協議し決定します。
137	特記仕様書	137	3頁 第1編 第1章 1-9 建設副産物	積算上、夜間の発生残土運搬はないものとお考えでしょうか。ご教示下さい。	夜間の発生残土運搬はありません。
138	特記仕様書	138	3頁 第1編 第1章 1-9 建設副産物	発生残土の処分場(大阪湾広域臨海環境整備センター)に搬入する残土の種類はどれとお考えでしょうか。 ① 陸上残土A ② 陸上残土B ③ 管理を要する陸上残土A・B 又、積算上想定されている単位体積重量をご教示下さい。	発生残土は陸上残土Aで、単位体積重量は1.8t/m <sup>3</sup> としています。
139	特記仕様書	139	3頁 第1編 第1章 1-9 建設副産物	積算上、汚泥及びアスファルト塊、コンクリート塊の想定されております処分先をご教授下さい。 又、運搬距離をご教示下さい。	処分先の開示は行いません。
140	特記仕様書	140	4頁 第1編 第1章 1-12 3. 交通誘導警備員の配置条件	夜間に施工する工種は記載されているもの以外をお考えでしょうか。対象があれば工種をご教示下さい。	特記仕様書のとおりとします。
141	特記仕様書	141	6頁 第1編 第3章 3-1 躯体コンクリート等の使用区分及び規格	使用するコンクリートは指定品をお考えでしょうか。ご教示下さい。	設計図書のとおりとします。
142	特記仕様書	142	8頁 第2編 第1章 1-1 準備工 第2章 2-1 土工	現場発生土の埋め戻しにつきまして、「工事区間内」との記載は「第2工区」とお考えでしょうか。ご教示下さい。	第2工区とご理解願います。

143	特記仕様書	143	8頁 第2編 第2章 2-1 土工	現場発生土の土質(土/軟/硬)をどのようにお考えでしょうか。ご教示下さい。	現場発生土の土質は土砂としています。
144	特記仕様書	144	9頁 第2編 第4章 4-1 道路使用 2. 夜間	「(1) 菅野交差点の道路使用」につきまして、「国道1717号線」は「国道171号線」の認識で合いますでしょうか。	「国道171号線」とします。
145	特記仕様書	145	9頁 第2編 第4章 4-1 道路使用 2. 夜間	「(1) 菅野交差点の道路使用」につきまして、171号線を通行止めにする「Dg1の送り出し及び降下作業」の他、1時～5時の時間帯に同交差点を使用する工種をお考えでしょうか。対象があれば工種をご教示下さい。	特記仕様書のとおりとします。
146	特記仕様書	146	9頁 第2編 第4章 4-1 道路使用 2. 夜間	「(3) 市道船場東13号の道路使用」につきまして、Cbp1の「支保工設置及び撤去」に該当する工種は設計書の何処をお考えでしょうか。ご教示下さい。	設計書p.29のPC桁工(Cbp1～Cbp3)3径間連続PC箱桁の材料・製作の表記は、材料・製作・架設ですので架設に該当します。
147	設計書	147	1頁 準備工 1号単価表 2号単価表	歩道切削につきまして、歩道復旧を含むとお考えでしょうか。ご教示下さい。	施工参考図のとおりとします。
148	設計書	148	1頁 2頁 準備工 標識撤去 4号単価表～6号単価表 照明撤去 7号単価表 防護柵撤去 8号単価表～11号単価表	撤去には「基礎」の「撤去、運搬及び処分」を含むとお考えでしょうか。ご教示下さい。	撤去には「基礎」の「撤去、運搬及び処分」を含みます。
149	設計書	149	1頁 2頁 準備工 標識撤去 4号単価表～6号単価表 照明撤去 7号単価表 防護柵撤去 8号単価表～11号単価表	撤去物の運搬をお考えでしょうか。ご教示下さい。運搬が必要な場合、以下をご教示下さい。 (1) 運搬距離 (2) 運搬1回当りの撤去物重量	撤去物は仮置きと考えています。
150	設計書	150	1頁 2頁 準備工 8号単価表 10号単価表 11号単価表	撤去物につきまして、仕様・規格をご教授下さい。 (1) ガートレール (2) フェンス (3) ガートパイプ	一般的な仕様・規格と考えご検討願います。
151	設計書	151	2頁～10頁 作業土工・土留め工 18号単価表 22号単価表 27号単価表 32号単価表 37号単価表 42号単価表 47号単価表 52号単価表 57号単価表 62号単価表 67号単価表 72号単価表 76号単価表 80号単価表 84号単価表 88号単価表 92号単価表 96号単価表 100号単価表 104号単価表	土留め工につきまして、積算上の施工区分は「設置・撤去」とお考えでしょうか。ご教示下さい。	土留め工は「設置・撤去」としています。

152	設計書	152	<p>2頁～10頁 作業土工・土留め工 18号単価表 22号単価表 27号単価表 32号単価表 37号単価表 42号単価表 47号単価表 52号単価表 57号単価表 62号単価表 67号単価表 72号単価表 76号単価表 80号単価表 84号単価表 88号単価表 92号単価表 96号単価表 100号単価表 104号単価表 路面覆工 23号単価表 28号単価表 33号単価表 38号単価表 43号単価表 48号単価表 53号単価表 58号単価表 63号単価表 68号単価表</p>	<p>土留め工及び路面覆工の仮設材(鋼矢板、覆工板、支保材)につきまして、積算上のお考えをご教示下さい。 (1) 仮設材は【購入or賃貸】のいずれでしょうか。 (2) 仮設材は【新品or中古品】のいずれでしょうか。 (3) (1)が【賃貸】の場合、賃料日数をご教示下さい。 又、損耗費の計上をお考えでしょうか。ご教示下さい。</p> <p>(1) (2)仮設材は賃貸で中古品としています。 (3)賃料日数は、必要な日数を計上願います。</p>
153	設計書	153	<p>2頁～10頁 作業土工・土留め工 18号単価表 22号単価表 27号単価表 32号単価表 37号単価表 42号単価表 47号単価表 52号単価表 57号単価表 62号単価表 67号単価表 72号単価表 76号単価表 80号単価表 84号単価表 88号単価表 92号単価表 96号単価表 100号単価表 104号単価表</p>	<p>土留め工につきまして、どの工法をお考えでしょうか。ご教示下さい。 油圧圧入をお考えの場合、「重機械分解・組立」の回数をご教示下さい。</p> <p>土留め工の工法は油圧圧入としています。 重機械分解・組立の回数の開示は行いません。</p>
154	設計書	154	<p>11頁～13頁 場所打ち杭工・オールケーシング工 108単価表 109単価表 112単価表 113単価表 114単価表 115単価表 116単価表 117単価表 118単価表 119単価表 120単価表 121単価表 122単価表 123単価表 124単価表</p>	<p>オールケーシング工につきまして、内容をご教示下さい。 (1) 掘削機械は全回転、振動のいずれをお考えでしょうか。 (2) 鉄筋の仕様・規格をご教示下さい。 (3) 杭1本当たりの鉄筋使用量をご教示下さい。 (4) 杭1本当たりの杭頭処理量をご教示下さい。 (5) 残土処分の処分先及び運搬距離をご教示下さい。 (6) 杭頭処分の処分先及び運搬距離をご教示下さい。</p> <p>(1) 掘削機械は全回転式としています。 (2) (3)(4) 主要数量をホームページ上で開示しました。 (5) 処分先の開示は行いません。</p>



155	設計書	155 15頁～40頁 躯体コンクリート工・鋼製橋脚 148単価表 158単価表 168単価表 178単価表 188単価表 198単価表 208単価表 218単価表 228単価表 38単価表 244単価表 249単価表 259単価表 PC桁工 単純 PCT桁 315単価表 317単価表 318単価表 324単価表 362単価表 鋼ホーム桁工 単純桁 405単価表 432単価表	工場製作品は諸経費の対象とお考えでしょうか。 諸経費対象の場合、何れの経費対象とお考えでしょうか。 ① 共通仮設費 ② 現場管理費 ③ 一般管理費	国土交通省土木工事標準積算基準に準じています。
156	設計書	156 15頁～40頁 躯体コンクリート工・鋼製橋脚 148単価表 158単価表 168単価表 178単価表 188単価表 198単価表 208単価表 218単価表 228単価表 38単価表 244単価表 249単価表 259単価表 PC桁工 単純 PCT桁 315単価表 317単価表 318単価表 324単価表 362単価表 鋼ホーム桁工 単純桁 405単価表 432単価表	積算上、工場製作品の輸送費を計上するとお考えでしょうか。 輸送費を計上する場合、輸送の運搬距離は何kmとお考えでしょうか。 若しくは、何処から工事現場への輸送とお考えでしょうか。 ご教示下さい	工場製作品の輸送費は必要な運搬距離で計上願います。

157	設計書	157	14頁～42頁 躯体コンクリート工・支保 138単価表 146単価表 156単価表 166単価表 176単価表 186単価表 196単価表 206単価表 216単価表 226単価表 236単価表 257単価表 267単価表 275単価表 283単価表 291単価表 299単価表 305単価表 310単価表 RCT桁工 支保 331単価表 340単価表 349単価表 358単価表 369単価表 378単価表 387単価表 396単価表 鋼ホーム桁工 支保 404単価表 431単価表 RCホーム桁工 支保 411単価表 416単価表 421単価表 426単価表 438単価表 443単価表 448単価表 453単価表 458単価表	躯体コンクリート工につきまして、支保工の「形式」及び「支保耐力」をご教示下さい。	支保工はくさび結合で支保耐力は各々必要な耐力で計上しています。
158	設計書	158	29頁 道路仮復旧工 仮舗装 313単価表 314単価表	道路仮復旧工の仮舗装につきまして、舗装構造及び舗装材料の仕様・規格をご教示下さい。 又、当該施工は、下記施工参考図(※)に該当しますか。図面が該当する場合、設計書と図面の舗装厚が異なりますが、積算上いずれの舗装厚をお考えでしょうか。ご教示下さい。  ※「高架部仮舗装一般図(その1)」(施工時歩道部仮復旧工)	設計書のとおりとします。
159	設計書	159	30頁 鋼合成桁工 架設 321単価表 323単価表	鋼合成桁工(Dg1及びDg2)につきまして、特記仕様書(第2編・第4章・4-1・2)に夜間の作業として「桁の送り出し」および「降下作業」が記載されています。夜間作業のみとお考えでしょうか。 又、輸送運搬も夜間とお考えでしょうか。ご教示下さい。	設計書のとおりとします。
160	設計書	160	30頁 鋼合成桁工 架設 321単価表 323単価表	鋼合成桁工(Dg1及びDg2)につきまして、桁の運搬は何処から工事現場までの運搬をお考えでしょうか。ご教示下さい。	桁の運搬は必要な運搬距離で計上願います。

161	設計書	161	43頁～44頁 躯体コンクリート工・防水コンクリート 465単価表 469単価表 473単価表 482単価表 486単価表 490単価表 494単価表 503単価表 507単価表	躯体コンクリート工につきまして、防水コンクリートの仕様・規格をご教示下さい。	防水コンクリートの規格は18N/mmとしています。
162	設計書	162	48頁 共通仮設費	共通仮設費につきまして、「運搬費」のお考えをご教示下さい。 (1) 機械運搬の対象機械、運搬回数及び運搬距離 (2) 機械の分解・組立の対象機械及び回数 (3) 仮設材運搬の仮設材重量、運搬回数及び運搬距離 (4) 仮設材の積込・取卸しの回数及び片道／往復の区別 又、機械運搬及び仮設材運搬につきまして、夜間運搬があれば、対象の工種をご教示下さい。	運搬費の内訳の開示は行いません。
163	設計書	163	48頁 共通仮設費	共通仮設費につきまして、「事業損失防止施設費」のお考えをご教授下さい。 「事前調査費」の内容をご教示下さい。	事前調査費は、沿道補償に係る事前調査費とご理解願います。
164	図番90	164	A1橋台RC杭	高架橋区間全体一般図(その1)では杭の本数が9本、A1橋台構造一般図では6本と記載されています。どちらが正かご教示下さい。	A1橋台の杭本数は6本とします。
165	図番91	165	P1橋脚	高架橋区間全体一般図(その1)では鋼管杭、P1 橋脚構造一般図では場所打杭と記載されています。どちらが正かご教示下さい。	P1橋脚は場所打杭とします。
166	図番102	166	P7橋脚	高架橋区間全体一般図(その1)では杭長が36m、P7橋脚構造一般図では杭長が32mと記載されています。どちらが正かご教示下さい。	P7橋脚の杭長は36mとします。
167	図番116	167	P14橋脚	高架橋区間全体一般図(その1)では杭の本数が8本、P14橋脚構造一般図では杭の本数が9本と記載されています。どちらが正かご教示下さい。	P14橋脚の杭本数は9本とします。
168	図番120	168	RC15	Rc15構造一般図では杭の長さが27m～30m、Rc15構造一般図(その1【道路基準】)では杭の長さが22mと記載されています。どちらが正かご教示下さい。	Rc15の杭の長さは27m～30mとします。
169	施工参考図	169	30・32頁 P8 橋脚仮設工一般図 P9橋脚仮設工一般図	土留め部材が1段目～6段目まで同じ部材となっていますが、積算は参考図で行ってよいかご教示下さい。また、現時点では計画で積算し、施工前に仕様を変更してよいかご教示下さい。その際、変更対象と考えてよいかご教示下さい。	必要な部材で積算願います。 任意仮設なので原則設計変更しませんが、必要に応じて協議対象とします。
170	施工参考図	170	18頁 高架部架設工 一般図	鋼管杭の部材厚、管の継位置はどのようにお考えでしょうか。ご教示下さい。	施工参考図のとおりとします。
171	施工参考図	171	19頁 (仮称)新箕面駅 仮設工全体図	P14～RC15付近は、調整池内に基礎を施工する計画となっていますが、調整池の改修等計画についてご教示下さい。	調整池は廃止し、埋め立てをして工事用地に使用します。その後開業までに駅前広場を整備する計画としています。
172	施工参考図	172	51頁 Pt9～Pt10 架設計画図(4)	RC19と既設の階段とが干渉しておりますが、階段および基礎の撤去は完了しているものと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	別工事にて既設階段および基礎の撤去後にRC19の施工を予定しています。

173	設計書	173	48頁 事業損失防止費	第三者損害の補償処理に関する説明書には1.補償費用の負担として(1)事前調査費、応急修理費、一時移転費、沿道対策費等の項目が記載されていますが、内訳書には事業損失防止費の中に事前調査費のみが項目としてあがっています。他の項目の費用は計上せずに積算してよいかご教示下さい。	(1)の補償費用のうち、事前調査費以外については現場管理費で計上しています。
174	特記仕様書	174	2頁 1-4 工事用地	工事用地の賃貸契約の費用負担はどのようにお考えでしょうか。また、ヤード造成、障害物撤去費用、原状復旧費用はどのようにお考えでしょうか。ご教示下さい。	工事用地に関する費用は営繕費で計上しています。
175	特記仕様書	175	2頁 1-4 工事用地	特記仕様書記載以外の施工ヤードで市保有用地等、使用可能な範囲があればご教示下さい。	特記仕様書記載以外にはありません。
176	特記仕様書	176	2頁 1-4 工事用地	高架下の用地は、占用可能でしょうか。また、杭・下部工施工時の施工基面造成等の作業についてはどのようにお考えでしょうか。ご教示下さい。	高架下用地の占用を前提にせず施工計画を検討願います。
177	特記仕様書	177	5頁 1-4 官公庁への手続等	千里川河川占用に関して、施工時および完成時の条件があればご教示下さい。	設計書のとおりとします。
178	特記仕様書	178	5・6頁 2-2 施工管理計画書(1)～(3)	工事担当職員から、巡視員を4名配置とありますが、巡視員の職務、拘束時間等あればご教示下さい。	地下工事標準仕様書のとおりとします。
179	特記仕様書	179	第2章算定基準の一部変更(追加)	算定基準の一部変更(追加)された各項目の仕様・規格・数量についてご教示下さい。	工事契約後に協議します。
180	別紙	180	③未発注工種(P2～P11)の基礎杭に係る、想定される施工上の課題抽出と課題対応策	橋梁構造の設計計算書をご教示下さい。(桁、橋脚、基礎、仮設山留)	工事契約後に提示します。
181	別紙	181	③未発注工種(P2～P11)の基礎杭に係る、想定される施工上の課題抽出と課題対応策	線形および構造物形状・位置を決定する際のコントロールポイントがあればご教示下さい。	橋脚の位置は変更せず、大きさは現状以下とします。P8～P11(河川部)のフーチングの大きさは現状以下とします。P2～P7(道路部)のフーチングの大きさは上部工の投影範囲以内とします。フーチングの土被りは設計図どおりとします。
182	別紙	182	③未発注工種(P2～P11)の基礎杭に係る、想定される施工上の課題抽出と課題対応策	河川協議に伴う構造変更については履行義務がないものと考えてもよろしいですか。ご教示下さい。	技術提案については、入札説明書1-(9)に記載のとおりとします。
183	特記仕様書	183	1-9	発生残土は「大阪湾広域臨海環境整備センター」へ搬出することとなっていますが、処分費用としては「陸上残土A」と想定して見積もるといふことでよろしいでしょうか。	陸上残土Aとします。
184	技術提案書	184	⑥確実な工事進捗管理方法	工事開始日(工事着手日)は、いつからと考えればよろしいでしょうか。	現地での工事着手は、都市計画関係法令による事業認可後と考えています。
185	設計書(本工事内訳書)	185		仮設護岸工 P8～P12は1式表示ですが、仮設護岸施工に伴う既設護岸の撤去数量は含まれているのでしょうか。	仮設護岸工の主要数量をホームページ上で開示しました。

186	構造図	186	P3(構造図ページ)	高架橋区間全体一般図(その3)のP2～P7間では、下部工、上部工ともに用地境界を侵しているように見受けられますが、図面通りと考えてよろしいのでしょうか。	高架橋区間全体一般図のとおりとします。
187	構造図	187	P3(構造図ページ)	P3～P7は、マンション、店舗の出入口部となりますが、第三者損害の補償処理での対応でよろしいでしょうか。もしくは用地買収となるのでしょうか。	用地買収を予定しています。
188	その他	188		千里川河川内へのH鋼、鋼矢板打設時、および既設護岸撤去時の河川の濁り等の水質管理基準はありますか。また、濁水処理対策費用は含まれていますか。	管理者との協議により決定します。
189	構造図	189	P2(構造図ページ)	河川を切替えた後の最終形状の平面図の提示をお願いします。	工事契約後に提示します。
190	構造図	190	P92(構造図ページ)	ボーリング位置と詳細な柱状図の提示をお願いします。	工事契約後に提示します。
191	構造図	191	P94(構造図ページ)	ボーリング位置と詳細な柱状図の提示をお願いします。	工事契約後に提示します。
192	構造図	192	P96(構造図ページ)	ボーリング位置と詳細な柱状図の提示をお願いします。	工事契約後に提示します。
193	構造図	193	P100(構造図ページ)	ボーリング位置と詳細な柱状図の提示をお願いします。	工事契約後に提示します。
194	構造図	194	P102(構造図ページ)	ボーリング位置と詳細な柱状図の提示をお願いします。	工事契約後に提示します。
195	構造図	195	P104(構造図ページ)	ボーリング位置と詳細な柱状図の提示をお願いします。	工事契約後に提示します。
196	構造図	196	P168～190(構造図ページ)	P2～P11(P7橋脚を除く)の応力度表と基礎に作用する荷重(L1、L2含む)の集計表の提示をお願いします。	P7橋脚及び「技術提案書作成にあたっての留意事項」によりご検討願います。
197		197		地下水を含む土質調査報告書一式の提示をお願いします。	工事契約後に提示します。 概要はホームページ上で公開しています「技術検討会資料」をご参照願います。
198	技術提案書	198	⑥確実な工事進捗管理方策(様式9)	土・日曜日、祝日の稼働は可能でしょうか。また、昼夜作業は可能でしょうか。また、標準工程での稼働率をご教示ください。	道路使用を伴うものは許可条件に従ってください。 労働安全衛生関係法令に従ってください。 標準工程の開示は行いません。
199	施工参考図	199	仮設工	P16～25、P29～39 仮設工一般図に示された仕様について、以下の資料を提示ください。 ・仮設構造物仕様の根拠となる構造計算 ・各断面での土質条件 ・仕様設定にあたっての土留め壁許容変位量などの制約条件	工事契約後に提示します。
200	施工参考図	200	仮河道工	・仮河道の必要断面積(幅、高さ)、水位を提示ください。 ・仮河道工鋼矢板VL型右岸側にタイロッドが必要となった根拠をご教示下さい。 ・P33、34「P10橋脚仮設工一般図」では 仮河道鋼矢板間の一部区間に切梁が設置されていますが、他の範囲には切梁が設置されていません。この切梁が必要となる理由をご教示ください。	必要河川断面積は約18.5㎡、水位はHWL2.5mとします。 仮設計画資料は工事契約後に提示します。



201	施工参考図	201	P17	1段目切梁がフーチング躯体と干渉しています。施工順序・仮設設計の考え方をご教示願います。仮設の構造変更が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	工事契約後に提示します。 任意仮設なので原則設計変更しませんが、必要に応じて協議対象とします。
202	施工参考図	202	P18～34	横断図1-1断面の右側仮歩道支持用のブラケットについて仕様・寸法を明示願います。	L-150×150×10としています。
203	施工参考図	203	P27～34	P8～P11橋脚埋戻し時に、河川側に作用する土圧に対する反力が不足する可能性があります。仮設の構造変更が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	仮河道上部に切梁を設置する計画ですので反力不足にはならないと考えてます。 任意仮設なので原則設計変更しませんが、必要に応じて協議対象とします。
204	施工参考図	204	P30	仮歩道路面覆工の桁受け支持用のブラケットについて仕様・寸法を明示願います。	山留め材のコーナーピースH-25用としています。
205	施工参考図	205	P30	仮歩道部の支柱については座屈の可能性があり、補強が必要と思われます。仮設の構造変更が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	支持する荷重が軽いので座屈にまでは至らないと考えています。 任意仮設なので原則設計変更しませんが、必要に応じて協議対象とします。
206	施工参考図	206	P30	河川部切梁(1段)が図示されていますが、反力が不足する可能性があります。仮設の構造変更が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	施工参考図では切梁は2段としています。 任意仮設なので原則設計変更しませんが、必要に応じて協議対象とします。
207	施工参考図	207	P37	建込・根固め式の鋼矢板が図示されていますが、倒壊の可能性があり。仮設の構造変更が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	根固め構造を確実に施工すれば倒壊する恐れはないと考えています。 任意仮設なので原則設計変更しませんが、必要に応じて協議対象とします。
208	施工参考図	208	P38～39	P13橋脚における仮橋の覆工受桁の寸法が既製品と異なると思われます。仮設の構造変更が発生する場合は別途協議と考えてよろしいですか。	仮橋の覆工受桁は必要な部材を計上願います。 任意仮設なので原則設計変更しませんが、必要に応じて協議対象とします。
209	施工参考図	209	P46～47	桁架設の送り出し構台について部材の仕様・寸法・重量が不明です。詳細図および数量計算書をご提示願います。	桁架設の送り出し構台は必要な部材を計上願います。
210	施工参考図	210	P44	ケーソン圧入機材について、数量表に1,800kN級の油圧ジャッキ4台が図示されていますが、圧入力不足の可能性があり。圧入機械の規格が変更となる場合は別途協議と考えてよろしいでしょうか。	1,800kN級の油圧ジャッキ4台で圧入力不足にならないと考えています。 任意仮設なので原則設計変更しませんが、必要に応じて協議対象とします。